

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

生かし合う 松下 幸之助著「道をひらく」より

1. 人間の生命は尊い。尊いものは誰もが尊重しなければならぬ。ところが、自分の生命の尊いことはわかって、他人の生命もまた尊いことは忘れがちである。ともすれば、私心に走り、私利私欲が先に立つ。つまり、自分にとられるということで、これも人情としてやむをえないことかもしれない。
2. しかし、これではほんとうに、おたがい相互の繁栄は生まれまいであろう。人間本来の姿はいかされまいであろう。やはり、ある場合には自己を没却して、まず相手を立てる。自己を去って相手を生かす。そうした考えにも立ってみなければならない。そこに相手も生き、自己も生きる力強い繁栄の姿がある。
3. 自己を捨てることで相手が生きる。その相手が生きて、自己もまたおのずから生きる。これはいわば双方の生かし合いではなかろうか。そこから繁栄が生まれ、ゆたかな平和と幸福が生まれてくる。おたがいに、ひろく社会の繁栄に寄与するため、おたがいを生かし合う謙虚なものの考え方を養いたい。 (参考:「PHP」2021年12月号)

幹部への活きた言葉

人が成長するための基本は読書

宮内 義彦 (オリックス シニア・チェアマン)

1. 人が成長するための1番基本的なものは読書だと考えています。もちろん実体験も不可欠ですが、根底には読書で人間性を深める努力が大切です。加えて、これからの時代のリーダーに特に求められるものは、「高度な専門性」と「人間力」です。変化の激しい時代だからこそ、会社の進むべき方針を明確に指し示すために、不断の学びが不可欠です。
2. また、どんなに高度な科学技術があっても、最後に成果を生み出すのは人間です。人間同士がお互いに敬意をもって働ける環境をつくること、組織を引っ張っていくためのリーダーとしての魅力も必要です。そうした専門性や人間力を身につけるためには、常に向上心を持ち、粘りのある持久力を身につけることが大切です。

(参考:「致知」:2021年12月号)

ワンポイント経営アドバイス

目の前で起きている小さな変化を捉える

1. 私たちは、とかく見たくないものを見ないようにする傾向があります。また興味や関心のないものは、たとえ物理的には見えても、見たという記憶すら残らないもの。しかし、目の前で起きている事実のほんの小さな変化を捉えることこそが、未来を予測するためには必要不可欠なのです。ピーター・ドラッカーは、こうした事象を「すでに起こった未来」と呼んでいます。
2. またドラッカーは、「すでに起こった未来は、体系的に見つけることができる」と述べており、その際、調べるべき領域は五つだと指摘しています。それは、(1)人口構造、(2)知識、(3)他産業・他国・他市場、(4)産業構造、(5)組織内部の五つ。これらについては変化の兆候が事前に表れ、比較的容易に将来が予測できる事象といえるのです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2021年11月13日号)

古典に学ぶ

未来の当事とは現時の青年のこと

(解説) 今私の言わんと欲するところは、単に商工業に関する方面に限られるのであるが、今後地図の変化に伴う商工業勢力範囲の変化について適切なる準備と実行の責任とは、未来の当事者にあるのである。しかしてこの未来の当事者なるものは、現時の青年を除いて外にない。青年たる者は今日よりして審思熟慮しんしじよくり。これに対する策を講ずべきである。

(参考: 洪沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)